

もっとうい明日へ
超えてく

みんなで育てよう 未来の若者

ちばこどもおうえんだん
生活協同組合パルシステム千葉
なのはな生活協同組合
生活クラブ生活協同組合

組合員の皆さまへ

「こども・若者未来基金」へ 募金のお願い

(認定NPO法人)ちばこどもおうえんだんの「こども・若者未来基金」の趣旨に賛同し、パルシステム千葉は募金に取り組んでいます。

「社会的養護^{*1}」という公的な支援のもとで暮らす子どもたちの自立を応援しよう!と立ち上げた、ちばこどもおうえんだん「こども・若者未来基金」は、今年で7年目を迎えました。2017年度より千葉県内3生協が連携して寄付募集を行い、これまでに約5,900万円の寄付が寄せられ、100名を超える若者を応援してきました。2022年度の寄付総額は8,789,958円となり、26名(31件)の子どもたちに助成することができました。寄付をしてくださった皆様には、心より感謝申し上げます。

「社会的養護下」に暮らす(暮らした)子ども・若者の自立への支援は、民間を中心に少しずつではありますが整備されようとしています。しかし多くの子ども・若者の自立には困難がついて回ります。

「こども・若者未来基金」は、社会的養護下に暮らす(暮らした)子どもたちに寄り添い、『いったんは挫折しても再チャレンジしたい』、そんな子どもたちの多様な自立を「伴走者^{*2}」と共に応援しています。

2023年度は新しく「若者への寄り添い支援」のメニューを始めます。新メニューは、これまで生きづらさを抱える若者たちに深く寄り添ってきた自立援助ホームの職員の方を伴走者とし、伴走者が必要と感じる支援(生活費全般や家賃補助、引越越し費用、医療費、若者の心に寄り添うイベント費用など)に自由に活用できるようになります。

今年度も9月から11月にかけて、助成の申請を受け付けています。基金の認知度が少しずつ増し、支援を希望する若者も増えていきます。ひとりでも多くの子どもたちを応援できるよう、皆さまのご協力をお願いします。

*1 児童養護施設や里親家庭など社会全体で子どもたちを育て、支援する仕組み。 *2 子どもたちに直接かわり自立を支える人

「こども・若者未来基金」のしくみ



* 金銭面での支援以外にも様々な形で支援しています。

募金方法

募金方法は現金とポイントによる2つがあります。注文用紙、またはインターネットでの注文時に下記の6ケタ番号と口数をご記入ください。

現金の場合

申込番号：133230 / 1口金額：300円

申込番号：133248 / 1口金額：1,000円

* 募金された金額は商品代金と一緒に請求させていただきます。

ポイントの場合

申込番号：169030 / 1口：300ポイント (=300円)

申込番号：169048 / 1口：1,000ポイント (=1,000円)

* 募金されたポイントはお手持ちのポイントから差し引かせていただきます。

* お手持ちのポイントが1口に満たない場合でも募金に振替できます。

(例) お手持ちのポイントが230ポイントで1口300ポイントの募金を申込みと230ポイントが募金に充当されます。

受付期間 2023年11月13日(月)～12月15日(金) 注文提出分まで

※のなか根店には募金箱を設置しています。

～お問い合わせ～ パルシステム千葉 組合員・産直・コミュニティ活動推進部 ☎ : 047-420-2605 (月～金 9:00～17:00) ✉ : palchiba-katsudo@pal.or.jp

pal*system
パルシステム千葉

社会的養護の下で育った

子ども・若者の自立を応援します!

【助成を受けた人の声】 ()内:助成年度

本人Aさん
(2022年度)

支援メニュー:入学金つなぎサポート



児童相談所で活躍する保健師の方を見てから保健師として働くのが夢です。大学入学後、地域の方との繋がりを大事にして社会的にも経済的にもしっかり生活できるようにしていきたいです。

本人Bさん
(2022年度)

支援メニュー:くらしサポート



ゲームが大好きで、ゲームのプログラミングの仕事がしたいです。専門学校へ進学し一人暮らしをする予定ですが、お金の心配をあまりすることなく、安心して勉強に打ち込みたいと思います。

本人Cさん
(2022年度)

支援メニュー:くらしサポート



将来、心理学関係の仕事につき、悩みや不安を抱えている人たちの助けになりたいです。くらしサポートの給付を頂けると、心に余裕を持って生活できます。

本人Dさん
(2022年度)

支援メニュー:くらしサポート



高校卒業後、親の負担を少しでも減らすため、就職して一人暮らしをします。お金の管理をしっかりしながら、頑張っていきたいです。

【助成を受けて大学を卒業した若者からの御礼】



社会福祉士の資格を取得でき、今年3月に福祉系の大学を卒業し、児童相談所に就職しました。無事に卒業できたのは、「ちばこどもおうえんだんさん」とその活動を支えている関係者の皆さんの支援のおかげだと考えています。経済的な支援はもちろんのこと、食事の支援、伴走時にあたたかく声をかけてくださる等、たくさん支援をしていただきました。これからは、大学で培ったものを活かして、こどもや家族の幸せを支援していきたいです。改めて、多くの支援をありがとうございました。

自立にかかるお金は?

アパートを借りる

家賃5万円として…敷金・礼金・2か月分の家賃など、少なくとも25万円必要

家財の購入

およそ15万円

自動車免許取得

およそ25万円

大学・専門学校などに進学の場合

入学金+授業料+月々の生活費がかかります。ほとんどの子どもは、アルバイトと奨学金、貯金の取り崩しで賄います。ダブルワークで、挫折する子も…

2017~2022年度までの実績

*15%の管理費・運営費を含みます。

【寄付額実績】 **58,920,667円**

【通常メニュー】生協組合員の皆さまからの寄付は、通常メニューの原資となっています。

支援メニュー	件数	金額(円)
くらしサポート	41	25,732,000
くらしスタート	52	12,278,440
まなびサポート	40	8,340,000
入学金つなぎサポート	6	3,000,000
資格サポート	9	2,350,000

【緊急メニュー】2019年度に受けた遺贈を原資に2020年度よりスタートしました。

支援メニュー	件数	金額(円)
緊急サポートSOS	18	1,800,000

◆お金でおうえん

メニュー名	内容
くらしスタート(住宅サポート)	一人暮らしを始めるにあたり必要な資金を援助(自立時の住宅資金や家財購入)
くらしサポート	進学した子どもの月々の生活の援助
資格サポート	資格取得に必要な資金の援助
まなびサポート	入学や進級時の一時金
入学金つなぎサポート	他の奨学金からの借入金を支払われるまで、入学金等の仮払い
緊急サポートSOS	自立後に急な生活の変化や病気などにより、生活がたちゆかなくなった時の緊急資金援助
若者への寄り添い型支援 ※2023年度新設	子どもたちに寄り添う伴走者が必要に応じて子どものために使える費用の補助

◆お金以外でおうえん

	内容
就職支援	インターンシップ・就職体験、紹介など
住居紹介	低価格・保証人不要住居の紹介

◆伴走者をおうえん

内容
子どもたちに寄り添う伴走者の経費の補助



確定申告の際、寄付控除をされる方は、「ちばこどもおうえんだん」までお問い合わせください。直接、寄付していただく方法をご案内します。

【お問い合わせ先】 認定NPO法人ちばこどもおうえんだん 〒263-0051 千葉県稲毛区園生町1107-7
TEL/FAX: 043-205-4046 (月~金10時~16時) mail: chiba.kodomo_ohendan@fuga.ocn.ne.jp